

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃにんぎょうげきだんむすびざ 株式会社人形劇団むすび座	団体ウェブサイトURL https://www.musubiza.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 大野正雄	
制作団体所在地	〒 459-8001 最寄り駅(バス停) 名鉄名和駅 愛知県名古屋市長区大高町字川添86番地	
電話番号	052-623-2374	
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんむすびざ 人形劇団むすび座	団体ウェブサイトURL https://www.musubiza.co.jp
代表者職・氏名	代表 大野正雄	
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ 最寄り駅(バス停) 制作団体に同じ 制作団体に同じ	
制作団体 設立年月	1967年1月	
制作団体組織	役職員 代表取締役:大野正雄 取締役:永草友子・長田明子 監査役:田中寛次	団体構成員及び加入条件等 劇団員38名(制作部8、総務部4、演技部26) 加入の条件:劇団の実施する入団審査に合格すること
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名 磯崎友子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 古田克司

制作団体沿革	<p>・昭和42年 人形劇団むすび座創立(昭和49年法人格取得)</p> <p>・昭和63年 【受賞】名古屋市芸術奨励賞 「世界人形劇フェスティバル'88 in名古屋」(国内外より延10万人が参加)の事務局として中心的な役割を果たす</p> <p>・平成16～令和4年度まで文化庁巡回公演事業継続採択(平成28年度のみ不採択)</p> <p>・平成20年度 【受賞】愛知県芸術文化選奨文化賞</p> <p>・平成26年度 【受賞】児童福祉文化賞『ピノキオ』</p> <p>・平成28年度 韓国招聘公演『ピノキオ』(ソウル他4ヶ所11公演)</p> <p>・平成29年度 【受賞】第33回芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団)</p> <p>・平成30年度 韓国招聘公演『ピノキオ』 (ソウル芸術の殿堂11日間14公演 他3ヶ所計19公演)</p> <p>・令和4年度 【受賞】児童福祉文化賞『チト みどりのゆびをもつ少年』</p> <p><文化庁舞台芸術創造活動活性化事業>採択実績 平成30年度 『オーケストラの生演奏で贈る-音楽人形劇-ピノキオ』 令和元年度 『オズのまほうつかい』 令和2年度 『チト～みどりのゆびをもつ少年～』</p> <p><厚生労働省社会保障審議会 特別推薦作品> 『ピノキオ』『父と暮せば』(平成26年) 『オズのまほうつかい』『かくれ山の冒険』(令和元年) 『チト みどりのゆびをもつ少年』(令和3年)</p>	
学校等における公演実績	<p><令和元年度> 1,057公演 ●小学校公演:115 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:156 ●幼稚園・保育園等公演:786</p> <p><令和2年度> 620公演 ●小学校公演:48 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:49 ●幼稚園・保育園等公演:507 ●乳児向け公演:16</p> <p><令和3年度> 804公演 ●小学校公演:39 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:114 ●幼稚園・保育園等公演:636 ●乳児向け公演:15</p>	
特別支援学校等における公演実績	<p>平成13～16年度 愛知県立港養護学校 平成16～27年度 三重県立養護学校北勢きらら学園 平成16年度 愛知県立三好養護・安城養護・豊田市立豊田養護学校 岐阜県立中濃特別支援・飛騨特別支援学校</p> <p><文化庁 巡回公演事業等での実施> 平成22年度 三重県立特別支援学校、東紀州くろしお学園おわせ分校 平成24年度 京都府立八幡支援学校 平成26年度 宮崎県立みやざき中央支援学校 平成28年度 名古屋市立南養護学校 平成29年度 三重県立くわな特別支援校、大阪府立西淀川支援学校 令和元年度 千葉県立銚子特別支援学校、山梨県立あけぼの支援学校 令和2年度 高知若草特別支援学校、宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校 令和4年度 三重県立養護学校北勢きらら学園 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校 青森県立青森聾学校(予定)</p>	
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/LGrW6SuUsRo
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: なし PW: なし

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団むすび座 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	-	
企画名	元気のでる人形劇 『かくれ山の大冒険』 ～最後まであきらめない弱虫は、弱虫じゃない～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『かくれ山の大冒険』 原作／富安陽子『かくれ山の冒険』(PHP研究所刊) 脚色・演出／北村直樹 美術／福永朝子 音楽／ノノヤママナコ 照明／若狭慶大 歌唱／いずみ 公演時間 70 分		
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>あらすじ—黒猫に誘われ、『かくれ山』の奥深く迷い込んで行く少年ナオ。そこは妖怪たちの住む魔界。猫婦人の屋敷には、魔法の力で猫の姿に変えられてしまった人間の子どもたちが捕らえられ、ナオもまたその一人に。猫婦人の魔法を解くには、天狗の隠れ蓑、鬼の雷の剣を入手し、山姥から猫婦人の弱点を聞き出さなければならない。「そんなの、ぼくにはできない～ありえない～！」ナオの味方は小さなネズミー匹。気弱なナオと相棒のネズミは、わずかな知恵と米粒ほどの勇気を絞って困難に立ち向かっていく。</p> <p>みどころ・セールスポイント—シンプルな舞台様式の中に、「モノ」を活かした表現を駆使し、子どもたちの想像力を引き出すための工夫をちりばめている。フラフープをネズミの住む穴の入口に見立て、その穴が神出鬼没に現れたり、△や□のパネルと布で、ドア・窓・山などの情景をテンポ良く多彩に表現。キャスト5人と思わせない、スピーディーで厚みのある演出。1体の人形を複数人で操り、まるで人形が生きているように動く様子は目を見張るものがある。</p>		
演目選択理由	<p>引っ込み思案で気弱な少年が、相棒の支えで知恵と勇気を振り絞って困難を乗り越えていく姿を通して、「友達の大切さ」「勇気を振り絞る事、あきらめずにチャレンジしていく事の大切さ」を子どもたちに伝えたいと考えます。突然異界に迷い込み、様々な妖怪と出会い、仲間を救うという大冒険に、観ている子どもたちはハラハラドキドキ。まるで自分自身が主人公と一緒にその物語の中に入り込んでいるかのような臨場感を味わいます。スケールが大きくダイナミックな舞台は、子どもたちの五感を刺激し、イメージーションを上げます。それらは彼らの豊かな創造性や感性、内面を育む力になり、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると確信します。厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財、児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」に選定された本作品は、優れた芸術性と高い教育的効果を併せ持っており、本事業に非常にふさわしい演目であると考えます。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>共演の形態—かくれ山の平和を乱していた化け猫が元に戻り、ネズミや妖怪たちが平和を喜び合うシーンで、妖怪役として自作の人形を持って出演し、テーマソングを歌い一緒に喜びを分かち合います。</p> <p>上演後の体験内容—学校の希望により以下のような体験も可能です。</p> <p>*人形・舞台セットの構造や人形の動かし方の説明、質疑応答コーナー等を設ける。</p> <p>*各自が作成した人形を持ち、他の児童・生徒のお見送り。 *俳優が人形と共にお見送り。</p>		
出演者	小泉裕明、入江靖子、三屋自然、飯田恵美、藤中智光/大野正雄(Wキャスト)		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合計: 6 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 7 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時30分 (11時30分～12時15分:共演のリハーサル)	13時30分～14時40分	なし	15時～16時30分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	0日	0日	0日	15日	
	11月	12月	1月	計	30日	
	0日	0日	0日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20人
		鑑賞人数目安	300人

舞台の様子（舞台は体育館のフロアに設置 上演スペース：横幅10m、奥行7m）



上演の様子

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20人
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>所要時間:100分程度(2時限) 途中休憩10分含む</p> <p>① 仲良くなるゲームで、緊張をほぐそう</p> <p>② 人形作り—かくれ山に住む妖怪を作ろう 「天狗」「山姥」「鬼」の中から作りたい人形を一つ選んで作ります。 ※材料は劇団で用意します。</p> <p>③ 作った人形を動かしてみよう 顔全体を縦横に変形させたり、口を動かしてしゃべってみましょう。 面白い動きやポーズを発見しましょう。</p> <p>④ 共演シーンの練習をしよう ラストの「かくれ山」に平和が戻り、住人(妖怪)たちが喜び合う場面で自作の人形を遣って妖怪役として出演します。 テーマソングを歌ったり、全体的な人形の動きや表現の練習をしましょう。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>① 最初にゲームをすることで、緊張をほぐしコミュニケーションをとりやすい雰囲気や表現・想像力が発揮されやすい環境をつくります。 そのことにより、人形を製作する際も個々の感性が刺激され、自由な発想が生まれてきます。</p> <p>② 人形の作製見本を参考にそれぞれの発想でオリジナルの人形を作ります。 人形作りが苦手な子どもにも、見本(基本形)を参考にできるので、取り掛かりやすいよう工夫しています。皆が人形を作る喜びを感じることができます。</p> <p>③ 完成した人形を動かすことで、「もの言わぬモノ」に命が宿り、表情が見えてくることを発見・体験し、人形で表現する楽しさ、面白さを実感します。</p> <p>④ 皆で共演シーンを作り上げる事により、達成感、充実感を得、本作品への興味がより深まります。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>【人形の作製見本】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>天狗</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>山姥</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>鬼</p>  </div> </div>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

人形劇団むすび座

】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>【離島公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年「地獄八景亡者戯Ⅱ」鹿児島県徳之島 「てぶくろをかいに」愛知県篠島 「あかずきんちゃん」愛知県日間賀島 ・平成30年「トッケビ」鹿児島県徳之島(2回)・奄美大島 「あかちゃんゴリラのゴリゴリ」愛知県篠島 「こぶじっさ」愛知県日間賀島 ・令和3年「だってだっておばあさん」鹿児島県奄美大島(5回) 徳之島(4回)・沖永良部島(2回)・喜界島 ・令和4年「ともだちや」鹿児島県奄美大島(5回)、沖永良部島(2回) ・喜界島 「だってだっておばあさん」鹿児島県徳之島(4回) <p>【へき地公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年「かくれ山の冒険」愛知県設楽町小学校へき地芸術教室 旧下山村小学校4校合同公演 <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>【特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】</p> <p>*移動が困難な地域に対し、ワークショップと本公演を同日に開催することができます。その場合は、あらかじめ、共演の詳細と人形製作キット、音楽CDをお送りした上で、詳細な打ち合わせをし、当日までに人形を製作していただきます。当日のワークショップは、仲良くなるゲームと共演の練習をメインに行います。</p> <p>*当団体は日本全国で年間約1,000回公演を行っており、特殊な事情がある地域での上演実績も豊富なため、厳しい条件下でも、実施することができます。</p> <p>【質を保つための工夫】</p> <p>*特に小規模公演にあたっての演出変更等はありません。</p> <p>*本演目は少人数編成ではありますが、経験豊富でレベルの高いキャスト・スタッフで構成しており、質の高い公演及びワークショップが可能です。また、メンバーはこれまでへき地や離島での公演も多数経験しており、質を落とすことなく、状況に合わせて柔軟に対応することができます。</p> <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <p>*スケールの大きな舞台ですが、構成人数を必要最低限にし、大道具・小道具も簡素化していますので、全体的な経費の削減となっています。</p> <p>*移動が困難な地域に対し、ワークショップと本公演を同日に開催することで派遣費を大幅に削減できます。</p>
----------------------------	--